

第3次 隠岐の島町共同募金推進計画

平成31年度～平成33年度



平成31年4月

島根県共同募金会 隠岐の島町共同募金委員会

《 目 次 》

計画策定の趣旨 ・ 期間 ・ 構成 ・ 基本方針 ・ 重点目標	．．．．．	P 1
隠岐の島町における共同募金の状況	．．．．．	P 2
1. 全体の構成	．．．．．	P 3
2. 推進方針と年次別計画		
組 織（計画的な運営を）	．．．．．	P 4
〃 （より一層の意識改革と能力向上を図ろう）		
配 分（助成）（身近な課題の解決につなげよう）	．．．．．	P 4
〃 （助成は公正かつ透明に）		
広 報（地道に丁寧に情報発信しよう）	．．．．．	P 5
募 金（創意工夫のある募金活動を）	．．．．．	P 5
〃 （助成を受けた団体と協働しよう）		
〃 （応援団を募ろう）		

1. 計画策定の趣旨

- 市町村共同募金推進計画は、『共募十策 共募をよくする 10 の提言(平成 22 年9月 島根県共同募金会改革推進検討委員会)』を具体的に推進するために県本会が定めた「中期計画」の基、県内各市町村において策定が求められた計画です。
- これを受け、隠岐の島町においても、平成 24 年度より検討を進め、平成 25 年度から平成 27 年度の3年間計画として「推進計画」を策定しました。
- 平成 28 年度から平成 30 年度の3年間は、島根県共同募金会が定めた「第 2 次中期計画(『共募十策 共募をよくする 10 の提言』の中の八策が基本方針)」の基、「第 2 次推進計画」として計画を遂行してきました。
- 「第2次推進計画」は平成 30 年度を以てその期間を終えることから、平成 30 年3月に策定された「第3次中期計画」の提言をさらに推進するとともに、これまでの成果や課題を受け止め、『第3次 隠岐の島町 共同募金推進計画(以下「本計画」。)』を策定します。

2. 計画の期間

- 本計画の期間は、平成 31 年度から平成 33 年度の3年間とします。県本会の中期計画との関係性を保持し、平成 33 年度には第 4 次推進計画への移行に向けた検討を図ります。

3. 計画の構成

- 本計画を「基本計画」と位置づけ、年度毎に「事業計画」を作成し、町内の状況等に対応した募金運動、助成事業を実施します。

4. 基本方針

- 県本会の計画と同様に次の八策を基本方針とします。
 - ①計画的な運営を
 - ②より一層の意識改革と能力向上を図ろう
 - ③身近な課題の解決につなげよう
 - ④助成は公正かつ透明に
 - ⑤創意工夫のある募金活動を
 - ⑥地道に丁寧な情報発信しよう
 - ⑦助成を受けた団体と協働しよう
 - ⑧応援団を募ろう

5. 重点目標

- 福祉課題の解決という役割を果たすため、地域の課題把握に向け、活動団体との協議や、社会福祉協議会等との連携を強化します。
- 地域住民が、運動の目的や解決すべき課題を理解し、地域福祉の一環として共感を持って共同募金運動に参加できるよう、創意工夫を働らした取り組みを行います。

隠岐の島町における共同募金の状況

(単位：円)

◆募金受入実績

年度 種別	26	27	28	29	30	H30 - H26 差異
戸別募金	4,857,895	4,728,230	3,731,541	3,474,673	3,304,759	▲1,553,136
学校募金	55,413	51,131	85,538	69,876	80,454	25,041
職域募金	147,737	159,890	164,179	145,761	143,762	▲3,975
法人募金	70,000	130,000	190,000	100,000	130,000	60,000
イベント募金	36,201	19,838	9,723	48,170	36,766	565
個人	0	107,403	0	0	22,079	22,079
その他	329,960	362,941	475,629	477,499	454,635	124,675
(内自販機)	292,540	297,090	362,380	384,400	394,750	102,210
合 計	5,497,206	5,559,433	4,656,610	4,315,979	4,172,455	▲1,324,751

○平成 26 年度には約 550 万円だった募金総額は、平成 30 年度には約 420 万円に減少しました。

【総額減少額 130 万円】

○これまでの募金運動は強制感が強いといった意見が多く聞かれたため、街頭募金の廃止、戸別募金も封筒を使用して匿名性を高めたり、平成 28 年度から一世帯当たりの目安額を 1,500 円から 1,000 円に減額するなど様々な工夫を行ってきました。

【戸別募金減少額 150 万円】

○一方では、町内企業へ法人募金や赤い羽根自動販売機設置のお願いをし、11%だった戸別募金以外の募金額が増えています。

【戸別募金以外の割合 21%】

◆助成実績

年度 助成先	26	27	28	29	30	H30 - H26 差異	
島根県共同募金会	1,463,000	1,463,000	1,463,000	1,463,000	1,294,000	▲169,000	
隠岐の島町共募	安心づくり	1,200,000	1,300,000	1,400,000	960,000	600,000	▲600,000
	交流づくり	1,225,000	1,268,800	1,137,600	1,189,600	921,900	▲303,100
	ふれあいサロン	777,000	695,000	828,000	640,000	930,000	153,000
	おきっこ健全育成	320,000	240,000	280,000	120,000	100,000	▲220,000
	福祉教育	390,000	390,000	390,000	130,000	140,000	▲250,000
隠岐の島町社会福祉協議会	282,592	140,406	60,833	154,010	202,379	▲80,213	
合 計	5,657,592	5,497,206	5,559,433	4,656,610	4,188,279	▲1,469,313	

○募金額の減少により各団体への助成額も変動しています。

○平成 26 年度と平成 30 年度の助成実績を比較すると、安心づくりについては助成額は半額に減額していますが、助成団体数は 13 件から 12 件と大きな変化はありません。

○交流づくりは平成 30 年度より助成単価を一人あたり 800 円から 700 円に減額しています。

○おきっこ健全育成・福祉教育も平成 29 年度より一団体あたりの助成限度額を減額しています。



県本会『共募八策』を基本方針として推進する「第3次中期計画」、さらには「第2次隠岐の島町共同募金推進計画」を踏まえ、推進方針を設定し、項目ごとに具体的対応策を掲げています。

1. 全体の構成

「共募八策」基本方針		県共募「第3次中期計画」	隠岐の島町「第3次推進計画」推進方針
組織 いかに活発な組織とするか	計画的な運営を	①第3次中期計画の進行管理 ②第4次「中期計画」の策定	①第3次「推進計画」の進行管理 ②第4次「推進計画」の策定
	より一層の意識改革と能力向上を図ろう	①ミッションの共有化 ②多様な人材が参画した共同募金委員会の運営	①研修への積極的な参加による職員の専門性向上
配分(助成) いかにより効果のある配分を行うか	身近な課題の解決に近づけよう	①地域福祉活動計画への共同募金の位置付けの明確化 ②ニーズキャッチ機能の充実 ③福祉ニーズの助成計画への反映 ④助成を必要とする団体の発掘 ⑤緊急時等に柔軟に対応できる助成の拡充	①住みよい地域づくり推進プロジェクト事業の推進
	助成は公正かつ透明に	①助成効果の評価、検証、公表	①「助成事業報告書」の作成・公表 ②寄付者への感謝と共感の輪を広げるとともに活動活性化を促進
広報 いかに市民の理解を得るか	地道に丁寧に情報発信しよう	①広報活動の強化 ②寄附者や募金ボランティアとのコミュニケーション機会の増加	①社協広報誌への関連記事の掲載 ②委員会ホームページの充実 ③社協ホームページでの関連記事の掲載 ④募金ボランティアへの説明会の開催
	募金 いかに募金活動を進めるか	①戸別募金の減少幅縮小のための工夫 ②テーマ募金の取り組み拡大 ③新しい募金手法の開発、実施 ④寄附付き商品やインターネットを活用した募金の開発 ⑤年間を通じた寄附受入の強化 ⑥遺贈、相続寄附等の取り組み強化	①戸別募金額の減少を抑える工夫 ②新たな募金チャンネルの開拓 ③寄付金付き商品(サービス)の開発
	助成を受けた団体と協働しよう	①被助成団体への助成明示の徹底と成果報告の充実 ②助成団体のボランティア等への協力促進	①被助成団体による広報の強化 ②募金運動実施団体への協力
	応援団を募ろう	①共同募金関係者の集い開催 ②出前講座や意見交換の実施	①学校募金を通じた「福祉教育」の推進 ②助成事業説明会の実施


※ 済・・・計画策定以前より取り組まれており、現在も継続されているため掲載なし。

2. 推進方針と年次別計画

共募八策 基本方針		第3次「推進計画」推進方針	年次別計画（具体策） ※（ ）内は年度			
			第1年次（31）	第2年次（32）	第3年次（33）	
組織	計画的な運営を	①第3次「推進計画」の進行管理	年度毎に「事業計画」を作成し、町内の状況等に対応した募金運動、助成事業を実施。		第3次推進計画の進捗確認と翌年度への反映	
		②第4次「推進計画」の策定	—	—	第4次隠岐の島町共同募金推進計画の策定（平成34年度～）	
	より一層の意識改革と能力向上を図ろう	①研修への積極的な参加による職員の専門性向上	職員を対象とした研修会・セミナー等への積極的な参加	目標値 全国ミーティング 県共募会議 計年3回		
配分（助成）	身近な課題の解決につながるよう	①住みよい地域づくり推進プロジェクト事業の推進	ニーズに立脚した助成制度の充実 ・新規助成団体の開拓	目標値 2団体 (自治会区等)		
		①「助成事業報告書」の作成・公表	①実施内容や自己評価をまとめた『助成事業報告書』の作成とホームページによる公開			
	助成は公正かつ透明に	②寄付者への感謝と共感の輪を広げるとともに、活動活性化を促進	②助成事業ごとに説明や共同募金の財源を活用していることがわかる掲示物の配布と「ありがとうメッセージ」の継続			

共募八策 基本方針		第3次「推進計画」推進方針	年次別計画（具体的対応策） ※（ ）内は年度		
			第1年次（31）	第2年次（32）	第3年次（33）
広 報	地道に丁寧 に情報発信 しよう	①社協広報誌への共同募金記事の掲載	①社協通信への寄稿（実績報告、助成事業案内等） 目 標 値 年5回寄稿		
		②委員会ホームページの充実	②タイムリーな情報発信		
		③社協ホームページでの共同募金記事掲載	③社協HPでの助成事業や募金状況の掲載		
		④募金ボランティアへの説明会の開催	④募金ボランティア説明会の開催 目 標 値 年1回3箇所		
募 金	創意工夫のある 募金活動を	①戸別募金額の減少を抑える工夫	①戸別募金について県共募が提案する改善策の実施		
		②新たな募金チャンネルの開拓	②ガチャガチャ募金や赤い羽根自動販売機での募金活動の継続		
		③寄付付き商品（サービス）の開発	③「募金百貨店プロジェクト」への参加及び周知 目 標 値 年1団体		
	助成を受けた団 体と協働しよう	①被助成団体による広報の強化	①被助成団体による助成表示の徹底		
		②募金運動実施団体への協力	②資材提供等の支援による募金運動実施団体の増 目 標 値 年1団体		
	募ろう	応援団を	①学校募金を通じた「福祉教育」の推進	①学校で行われる集会等での共同募金説明の実施	
②助成事業説明会の実施			②社協をはじめ助成先が実施する事業・活動の場を活用した情報交換や、財 源活用（募金と助成の循環）の周知		

用語解説

募金方法	説明	備考
ガチャガチャ募金	<p>ガチャガチャは、お金を入れると丸いカプセルが出てくる仕組みのものです。カプセルの中には赤い羽根としまねっこをモチーフにした缶バッジが入っています。 (一個 100 円 全額募金)</p>	<p>【ガチャガチャ本体】 お金を入れて下のレバーを回すとカプセルが出てきます。</p> 
募金百貨店プロジェクト	<p>企業・福祉団体・地域福祉への貢献を検討している組織・団体等へ協力いただく募金方法です。 協力していただく企業にもメリットがあり、かつ売り上げの一部が募金になることで、購入した人が募金へ参加できる寄付付き商品を企画します。 県の共同募金会で推進しており、隠岐の島町共同募金委員会が、この企画に参加する企業との仲介役となります。</p>	<p>【例えば】 パン屋…食パン1斤につき10円 印刷会社…挨拶状印刷1枚につき1円 社福法人…豆腐、パンなどの指定商品1個につき1円 など</p>